

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	コロナ感染予防の観点から、地域の防災訓練への参加が減り、事業所の防災避難訓練への自治会防災委員や近隣住民の参加が実現出来なかった。	自治会防災委員や近隣住民に、施設の要援助事項を理解して頂き、実際の災害時に協力が求められる関係を構築する。	自治会の防災委員会と協議して、事業所の防災避難訓練への参加を求める。また、高齢者福祉施設として非常時に協力出来ることを明確にし、相互の認識をすり合わせる。	6ヶ月
2	49	コロナ禍や夏の猛暑もあり、室内での体操や歩行訓練等が中心となってしまう、職員の外出支援への意識そのものが低調となってしまった。	日常的な外出支援が行えるように、業務や職員の意識を見直す。	毎月のカンファレンス時に他施設の取り組みを紹介したり、日光を浴びることによる健康や生活への効果を施設内研修で再度取り上げる。	2ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。